

第3回専門部会のふりかえり

一般廃棄物処理基本計画改定

第4回専門部会

平成27年6月29日

資料 1

(1) 家庭系ごみ関連施策

考え方

今後の方向性・取り組み(具体的施策案)

施策推進にあたっての視点

○2R(リデュース・リユース)の推進

○循環型社会の実現に向けて、商品の生産、販売段階や消費行動で、**生産者、販売者、消費者**が**主体的**に考えて取り組むための**働きかけ**を行い、ごみになるものをできる限り少なくする、**2R(リデュース:発生抑制、リユース:再使用)**を推進していく。

- ①簡易包装の推進
- ②「燃えるごみ減らそう生活の実施」
- ③台所ごみの水切り徹底
- ③食べきりの推進
- ⑤マイバックの推進、レジ袋削減の拡大
- ⑥マイカップ・マイ箸・マイ食器の推進
- ⑦古着・古布のリユースの推進
- ⑧リターナブルびんの推進
- ⑨段ボールコンポストの推進

※番号は優先順位検討での順位

○情報提供・啓発の推進、リサイクルの徹底

○ごみに関する**情報**をルールブックの活用とともに、**若年世代**の人がよく利用しているスマートフォン向けの情報発信や、学生や共同住宅等の**新規入居者**向けの情報提供にも積極的に取り組んでいく。

○**リサイクル**について、できる限り**効率的に回収・資源化**するために、排出者である市民にとって**品目別**にわかりやすい分別基準の設定や民間リサイクルルートを紹介など出しやすさを向上させる取り組みを行う。

- ①雑がみの分別ルールの徹底
- ②パソコンやスマートフォンなどを利用した分別情報やごみ出し日情報の発信
- ②共同住宅所有者の入居者へのルール啓発の推進
- ④容器包装プラスチックの分別ルールの周知
- ⑤指定袋制度の周知・啓発
- ⑥小型家電リサイクル制度の周知啓発、回収量の増加に向けた取り組み
- ⑦大学等との連携事業

※番号は優先順位検討での順位

・誰でもできること

・やりやすさ

・わかりやすさ

・市民の意識を高めること

・定期的かつ的確な啓発

・デザインによる工夫

考え方

今後の方向性・取り組み(具体的施策案)

施策推進にあたっての視点

○高齢化対応

○高齢化社会の到来などにより今後、地域住民で管理しているクリーンステーションの適切な管理や体が不自由でごみ出しが難しくなる人が増えてくると予想されるため、これらに対応した**支援**を実施する。

○また、高齢者に配慮したわかりやすいルール啓発などの**情報提供**などにも取り組む。

- ・ごみ出し支援の充実
- ・高齢者に配慮した情報提供

・地域での福祉をベースに考え、対応できない部分を行政で補う

・環境教育と福祉教育のマッチング

素案への反映

施策推進にあたっての視点を考慮したうえで、現状取り組んでいる施策の発展・推進及び新規事業の検討・展開を図っていく。